

保 健 体 育 科 学 習 指 導 案

北海道教育大学附属函館中学校 保健体育科

1 単元名 「B 器械運動 <マット運動>」(第1学年)

2 単元について

器械運動は、マット運動、鉄棒運動、平均台運動、跳び箱運動で構成され、器械の特性に応じて多くの「技」がある。これらの技に挑戦し、その技ができる楽しさや喜びを味わうことのできる運動である。

中学校では、これらの学習を受けて、技がよりよくできることや自己に適した技で演技することが求められる。したがって、第1学年及び第2学年では、技ができる楽しさや喜びを味わい、その技がよりよくできるようにする。また、器械運動の学習に積極的に取り組み、よりよい演技を認めることなどに意欲をもち、健康や安全に気を配るとともに、技の行い方や練習の仕方などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにすることが大切である。

3 題材名 「器械運動 <マット>」

4 学習目標

単技およびつなぎ技のポイントを見付けて、連続技に生かすことができる。【運動についての思考・判断】

5 本時における「消費者教育で育むべき力」および学習指導要領の「内容」

領域	①消費者市民社会の構築に関する領域
項目・目標	イ・持続可能な社会の必要性に気づき、その実現に向けて多くの人々と協力して取り組むことができる力
目標を構成する要素	2) 多くの人々との協力的な取組・態度
学習指導要領の「内容」	B(2)「よい演技を認めようとする事、分担した役割を果たそうとする」

領域	②商品等やサービスの安全に関する領域
項目・目標	ア・商品等やサービスの情報収集に努め、内在する危険を予見し、安全性に関する表示等を確認し、危険を回避できる力
目標を構成する要素	1) 内在する危険の予見と危険の回避
学習指導要領の「内容」	B(2)「健康・安全に気を配る」

6 本時の学習活動

学習活動	教師の働きかけ	指導上の留意点
<ul style="list-style-type: none"> ○集合，整列，挨拶をする。 ○班でW-u pに取り組む。 (班別学習) ○マット種目・跳び箱種目を個人選択し，取り組む。 (選択制能力別学習) ○本時の目標を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○班内で正しく補助が行われているかを配慮させる。 ○ミニティーチャーとなる生徒を中心に学習を進めさせる 	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 単技やつなぎ技のポイントを見付けて，連続技に生かそう </div>		
<ul style="list-style-type: none"> ○前時まで完成している7種目の連続技を練習する。 <div data-bbox="161 835 571 1066" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>連続技（7種目以上）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロングマットを1往復半演技 ・ポーズ⇒①往路3種目⇒②バランス技で 向き返る⇒③復路はやや難易度の高い技 2種目⇒④大技⇒⑤ポーズ </div> <ul style="list-style-type: none"> ○連続技の班内仮発表会を行う。(グループ学習) ○7種目の連続技の構成や，つなぎ技，一つひとつの単技の出来ばえについて再検討する。 ○単技のポイントを踏まえた連続技の構成であったかどうか，また，つなぎ技を踏まえた構成であったかどうかをワークシートに記入させ，必要に応じて構成を修正させる。 ○連続技個人練習(個別学習) ○集合，整列，整理運動，次時の学習内容を知る。 ○挨拶，後片付けを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○運動観察には，タブレットPCおよび動画再生遅延装置を用いる。 ○相互評価を用いさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○映像確認する際の着目点を提示する。 ○連続技の映像と教科語彙を提示して再検討させる。

7 評価

単技およびつなぎ技のポイントを見付けて，連続技構成に生かすことができている。【運動についての思考・判断】